


赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金・九州」

住民支え合い活動報告書

助 成 団 体	団体名	ふりがな けいちょうぼらんていあうき 傾聴ボランティア宇城		
	所在地	〒 869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福 1786 ボランティアセンター内		
		TEL 0964-32-1055 / FAX 0964-32-6455		
		メール uki.sha-kawamura12@eco.ocn.ne.jp ホームページ		
代表者名	ふりがな うかわ のりやす 鶴川 憲康 			
申込責任者名 (連絡先)	ふりがな うかわ のりやす 鶴川 憲康		〒 869-0502 熊本県宇城市松橋町曲野 2108-24	
	TEL 0964-32-3894 携帯電話 080-1741-0483 FAX			
実 施 結 果	事業名	生活支援活動(傾聴)	助成金額	100,000円
	実施時期	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日		
	実施内容	<input checked="" type="checkbox"/> 生活支援活動 <input type="checkbox"/> サロン事業 <input type="checkbox"/> 季節の行事 <input type="checkbox"/> 住民交流事業 <input type="checkbox"/> その他 ※添付の活動事例をご覧の上、主な該当項目に1つだけチェックをつけてください。 実施した内容、背景：仮設住宅やみんなの家での傾聴活動、悩みことや、お話を聴き、被災者の心に寄り添いながらケアを行った。 実施日時：別紙添付 実施場所：仮設住宅対象者、仮設住宅集会場(当尾みんなの家、小川みんなの家、豊野公民館、井尻みんなの家、御領みんなの家、曲野長谷川みんなの家) ※仮設住宅対象者は高齢者の一人暮らし、日中一人暮らしを対象に行った。 実施効果：健康面、心配事などを聴くことができ、支え合いセンターとも連携できた。 今後の課題：仮設住宅から復興公営住宅に移行していくなかで、住民同士の交流も減少すると思われる。今後も傾聴活動を継続して行っていきたい。 <div style="text-align: right;">参加人数 (13) 名</div>		
	※写真はHP等で公表してもよいものを別途1枚以上添付してください。			
参加者の声	○毎月来られるのを楽しみに待っています。 ○話をしっかり聞いてもらえて心がほっとします。 ○話を聴いてくださり、色々情報を教えていただいています。			
寄付者へのメッセージ	皆様の募金により、仮設住宅に入居されている方に、傾聴活動を行うことができ「ありがとうございます」という声を多くいただきました。私たちなりに、寄り添いながら支援ができたと思います。 今後も活動を行っていきますので、ご支援よろしく申し上げます。ありがとうございました。			





(様式3)

決定通知番号

30-00003

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金・九州」

住民支え合い活動報告書

助成団体	団体名	ふりがな ほのぼのあかりじっこういんかい ほのぼのあかり実行委員会		
	所在地	〒869-0511 熊本県宇城市松橋町曲野2729番地		
		TEL (0964) 32-3384 / FAX (0964) 32-3384		
		メール なし		
	ホームページ なし			
代表者名	ふりがな いけだ たかよし 池田隆美 印			
申込責任者名 (連絡先)	ふりがな いけだ たかよし 池田隆美		申込責任者名 (連絡先)	
	TEL 同上 携帯電話		FAX	
実施結果	事業名	ほのぼのあかり	助成金額	92,000円
	実施時期	平成30年11月 2日 ~ 平成30年11月 3日		
	実施内容	<input type="checkbox"/> 生活支援活動 <input type="checkbox"/> サロン事業 <input type="checkbox"/> 季節の行事 <input checked="" type="checkbox"/> 住民交流事業 <input type="checkbox"/> その他 ※添付の活動事例をご覧の上、主な該当項目に1つだけチェックをつけてください。 実施した内容、背景、どのような効果があったか、評価、今後の課題などできるだけ具体的に記入してください。		
		仮設住宅立地地区住民有志により仮設住宅の住民を対象にした交流事業。 竹灯籠などを作成し、夕方にライトアップし、風景を楽しみながら、地元住民有志が炊き出した豚汁やおでん、おにぎり、イモ天ぷらなどを「みんなの家」で共に食べることで交流を行った。 参加人数(80)名		
参加者の声	・震災後の初年度から毎年「ほのぼのあかり」を実施してもらい、竹灯籠によるライトアップを見る機会はありがたい。竹灯籠のライトアップだけではなく、食事の提供もしてもらい、楽しく参加しています。 ・冬の澄んだ夜に竹灯籠でライトアップされた景色が非常にきれいで、再建に向けて頑張らなければという思いになりました。			
寄付者へのメッセージ	震災後、2年間は地元有志で負担し合ってイベントを行ってきましたが、今年は助成金を申請できるということを社協職員より聞いて、嬉しく思いました。仮設住宅で生活する被災者の笑顔が見られたことが何よりです。助成金をいただき、ありがとうございました。			

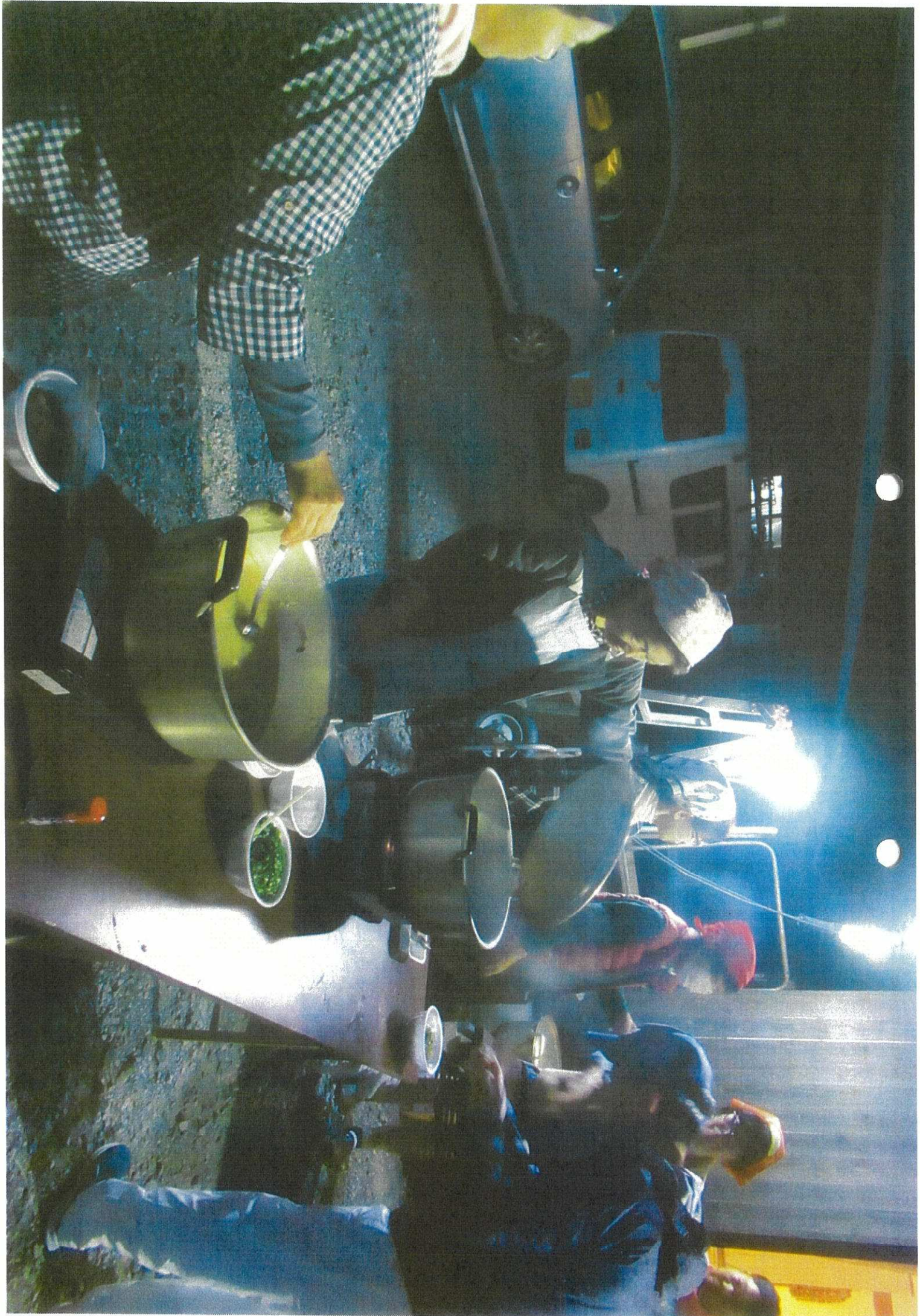








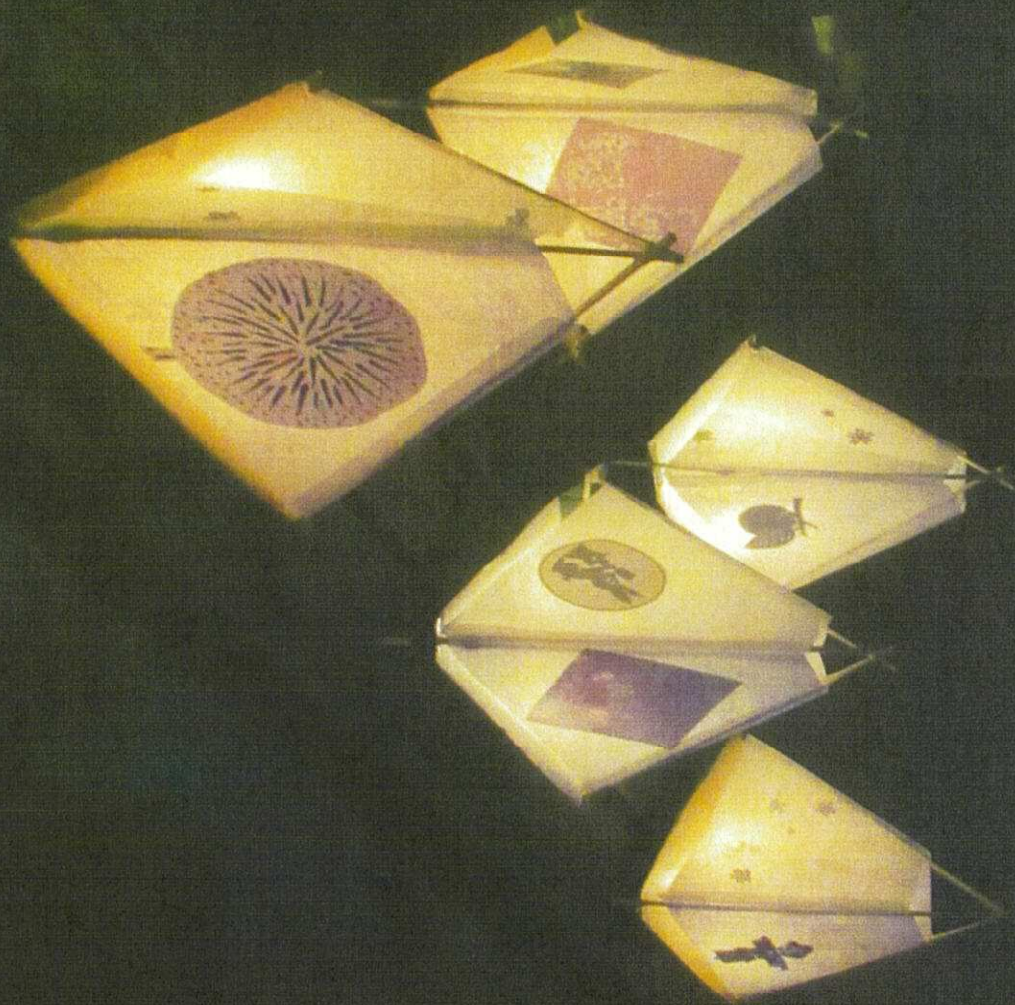












客棧杯打石

客棧市批坊

セシター一復興

